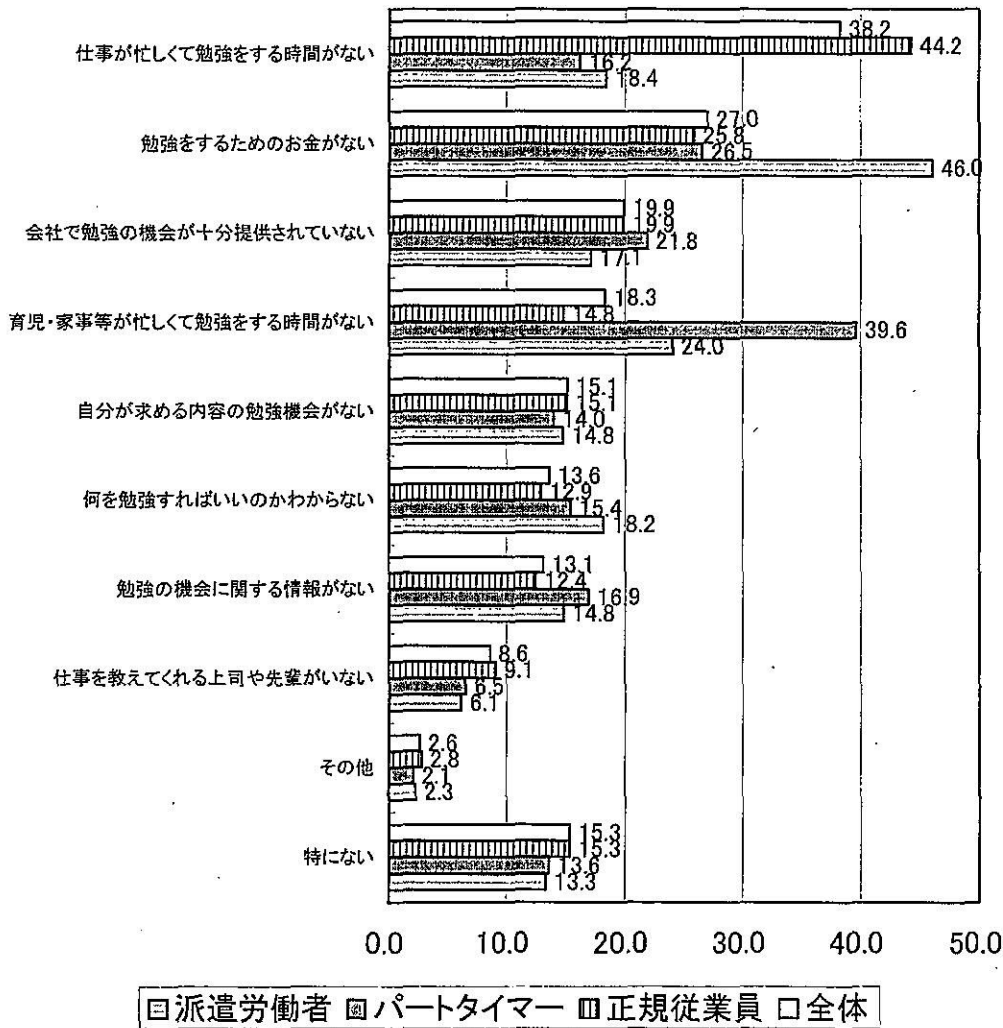


能力開発を行う上で障害となること(複数回答)(労働者調査)

労働者側が能力開発を行う上での障害として挙げているのは、時間的な要因、金銭的な要因、情報面の要因が多い。

特に、いわゆる正社員では仕事が多忙なことによる時間的な要因をあげる者が多く、パートタイム労働者では育児・家事等多忙なことによる時間的な要因をあげる者が多く、派遣労働者では金銭的な要因をあげる者が多い。



資料出所: 2004年(独)労働政策研究・研修機構

「労働者の働く意欲と雇用管理のあり方に関する調査」

注) 「労働者の働く意欲と雇用管理のあり方に関する調査」の調査対象従業員は、従業員数100人以上の企業から無作為に抽出した10,000社の労働者10万人(有効回答7,828人)。